

指導者 T1 關口 晶子
T2 木村 美江
展開場所 視 聴 覚 室

1 単元名 健康な生活と疾病の予防 オ 感染症の予防

2 単元について

(1) 単元の内容

かつては死亡原因の上位を占めていた感染症も、現在では医学の進歩や環境衛生の改善により減少してきた。しかし、近年になり、新興感染症(エボラ出血熱・エイズ・新型インフルエンザなど)や再興感染症(結核やマラリアなど)と呼ばれる感染症、最近では、新型コロナウイルス感染症が流行し、新たな課題となっている。性感染症では、気付かないうちに感染したりさせたりする恐れがあることから、感染者の増加傾向とその低年齢化が社会問題となっている。

本単元では、感染症の予防は、生徒自身の健康や生命を守ることにつながることから、感染症に対する正しい理解と判断力を身に付けさせ、日常的に健康的な生活を心掛けることが大切であることを理解させたい。また、中学校学習指導要領〔保健分野〕の目標(3)「生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。」を受け、内容(1)「健康な生活と疾病の予防」に沿って設定されたものである。疾病や感染症について正しく知り、感染リスクを低減する効果的な方法を考え、選択し、実践していくことができるようになることをねらいとしている。以下は、学習指導要領の該当部分である。

(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

(オ) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

(カ) 健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は正しく使用すること。

イ 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

(2) 生徒の実態 (男子20名、女子12名 計32名) ※アンケート実施 31名

意欲的に授業に参加する生徒が多い。一方で課題を見付け、解決していこうと自分の考えを相手に伝えることが難しい生徒も多くいる。話合いの場面では、考えを伝えられる生徒の一方通行になってしまう場面も多々ある。体育分野を得意としている生徒にとっては、保健分野は好きではないと感じている生徒もいる。

① 保健体育(保健分野)の授業は好きですか。

はい 20 名	いいえ 11 名
・自分の体について知れるから ・今後のために知っておいた方がいい情報があるかもしれない ・心のバランスなど知らないことが分かってよかったから	・体を動かす方がいい ・元気だから興味がない ・情報は自分で調べられる

② 健康のために普段から心掛けていることはありますか。

ある 18 名 ない 13 名

○あると答えた人は、どのようなことを心掛けていますか。

- ・食生活 ・睡眠 ・食事の栄養バランス
- ・うがい、手洗い ・適度な運動 ・早寝早起き ・ジャンクフードは極力食べない

③ 感染症にはどのような種類があるか知っていますか？

知っている 28 名 知らない 3 名

- ・インフルエンザ ・新型コロナウイルス感染症 ・感染性胃腸炎 ・ノロウイルス
- ・エボラ出血熱

④ 感染症にかからないようにするための予防法など、知っていることはありますか。

- ・マスクをする ・生活習慣を整える ・早寝早起き ・予防接種をする
- ・手洗い、うがいをする ・消毒をする ・食事をしっかりとる

⑤ 性感染症について知っていますか。

知っている 7 名 少し知っている 4 名 あまり知らない 13 名 知らない 7 名

⑥ 性感染症の予防方法を知っていますか。

知っている 7 名 知らない 24 名

⑦ これまでの保健の授業で学んだことを、自分の生活で生かしていますか。

- ・生活習慣を整えた生活を心掛けている ・咳エチケットに気を付けている
- ・鼻血が出たときに適切に対応できた ・怪我の手当ができるようになった
- ・たばこの煙を吸わないように避けている
- ・バランスよく、何でも食べるようにしている
- ・足首を捻ったときや突き指の時にすぐに冷やすことができた

アンケートの結果から、新型コロナウイルスやインフルエンザなど身近な感染症については、かかったことがある人が多く、約半数の生徒が対処法や予防についての知識があることが分かった。一方で、性感染症については、あまり知らない、知らないと答えた生徒が多かった。また、言葉では聞いたことがあるが、内容までは分からない人や、人にはなかなか聞けない内容なので、みんながどう思っているか、それについての知識があるのか気になっている様子も見受けられた。保健分野の学習に関しては、学習したことを実生活で生かしている人が多くいることが分かった。

(3) 指導観

中学3年生は思春期の真只中にある。家庭でも性教育について話す機会はなかなかなく、インターネットや友達からの必ずしも真実とは限らない情報で知識を得ている。なかなかオープンに話す機会もなく男女間でも話しにくい題材である。加えて、昨今は、社会的にも感染者数の増加と青少年の感染が社会問題にもなっており、性感染症について十分な知識がないことが最も大きな原因の一つとなっている。これらを踏まえて、授業では正確な知識を付け、様々な性感染症についての症状や特徴を捉えながら、その予防法について深く考えさせることが必要であると考え。性感染症予防の学習の意義を正しく伝えていくことが大切となるが、生徒の理解度と感受性に合わせた内容と表現を心掛ける。まずは、自己の体を尊重し、大切にすることの重要性を伝える。自分の健康を守る行動が自己尊重に繋がることを理解させ、自分と他人の健康に対する責任を持つ行動を促し、性行為に対する慎重な態度を育てたい。また、性感染症の教育は、単なる知識の伝達にとどまらず、生徒が健康な生活を送るための重要な基盤となるものであり、自分自身の健康を守る力を身に付けることが、将来の健康と幸福に繋がると考える。この学習が実践的な学習となるように、性感染症の広がり方についての実験を通して性的接触の連鎖について考える。自覚症状がないまま感染を広げてしまうこと、自分の将来等、興味本位での行動が取り返しのつかないことになることを自分で考えさせるとともに、友達と意見を交流する場面を設け、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できるようにしたい。また、感染症の問題だけではなく正しい知識を身に付けなければ、予断と偏見を持つことになり、人権問題にも関わることであることも押さえたい。なお、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ることなどに配慮していかなければならない。そして、共に生きていく明るい社会をつくろうとする意欲と実践力の育成につなげたい。

3 単元の目標

- 感染症は、病原体が主な要因となって発生することを知り、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解できるようにする。(知識及び技能)
- 感染症の予防や健康を守る社会の取組について、取得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択して、それらを伝え合うことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- 感染症などの予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

4 評価規準

	知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりの評価規準	・感染症は、病原体が主な要因となって発生する。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。 ・健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要である。また、医薬品は、正しく使用することを理解している。	・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現している。	・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。
単元の評価規準	①性感染症は、感染経路が性的接触で、感染者の粘液などに含まれる病原体に感染する病気であること、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。(観察)	①性感染症の予防について、原則や概念を基に、感染のリスクを軽減する効果的な方法を選択し、その理由などを筋道を立てて伝えている。(観察)	①性感染症の予防について、学習に自主的に取り組もうとしている。 (観察・実験)

5 指導と評価の計画

時数	主な学習内容	指導・支援	知識	思考表	主体的
1	「感染症の原因と発病、感染症に関する条件」 ・病原体の感染には、自然環境条件と社会環境条件が関係し、発病には、感染者の抵抗力などの主体の条件も関係することを理解する。	・感染症は、病原体に感染することで起こる病気であり、感染や発病には自然環境条件と社会環境条件、主体の条件が関係していることを理解できるようにする。	○		

2	「感染症を予防するための原則、体を守る仕組み」 ・感染症を予防するためには、感染源をなくす、感染経路を断ち切る、体の抵抗力を高めるといった三原則に基づいて対策を立てる必要があることを理解する。	・予防の方法として、予防の三原則があることを理解できるようにする。また、身近な疾病を例に取り、グループで具体的な方法について話し合わせ、効果的な実践を意識させながら、予防策を理解できるようにする。	○		○
3 本 時	「性感染症、青少年の感染、性感染症の予防」 ・性感染症の感染者数の増加と青少年の感染は、近年の社会問題となっていること、そこには性的接触の連鎖があることを理解する。	・感染者数の増加と青少年の感染が社会問題となっていること、その原因も十分な知識がないことによることなど、性感染症予防の学習の意義を理解できるようにする。また、様々な性感染症についての症状や特徴と予防法について主体的に考えることができるようにする。	○		
4	「エイズと HIV、エイズの予防」 ・主な感染経路が性的接触であるため、予防には性的接触をしないこと、コンドームを使うことが有効であることを理解する。	・感染経路は、性的接触による感染、血液を介しての感染、母子感染に限定されていること、感染予防には性的接触をしないことが有効であること、コンドームの使用で感染の危険性を少なくすることを理解できるようにする。	○		
5	「様々な公衆衛生活動、保健機関、医療機関の役割と利用、健康を守る活動への積極的な参加」 ・健康の保持増進や病気の予防には、健康的な生活行動など個人が行う取組とともに、社会の取組が有効であることを知る。	・本や資料のほか、章末資料なども活用し、公衆衛生活動について理解できるようにする。 ・自分が住んでいる地域の取組について調べたり、自分にできる健康を守る取組を考えたりし、生活に生かせるようにする。		○	
6	「医薬品の種類と作用、医薬品の利用」 ・医薬品には、主作用と副作用があること及び、使用回数、使用時間、使用量などの使用法があり、正しく使用する必要があることを理解する。	・医薬品の有効利用については、初めて学習する内容であることなどから、本文や資料から語句の意味を正しく理解できるようにする。			○

6 本時の指導（3/6）

（1）目標

○性感染症は、感染経路が性的接触で、感染者の粘液などに含まれる病原体に直接触れることによって感染する病気であること、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり、書いたりすることができるようにする。

（知識）

○性感染症の予防について、原則や概念を基に、感染リスクを軽減する効果的な方法を選択し、その理由などを筋道を立てて伝え合うことができるようにする。 （思考力、判断力、表現力等）

○性感染症の予防についての学習に、自主的に取り組むことができるようにする。

（学びに向かう力、人間性等）

（2）展開

過程	時配	学習内容と学習活動	指導・支援、○評価(観点)【方法】	用具・資料
はじめ	5分	1 性感染症に関する Kahoot! を行う。	・性感染症に関する復習とこれから学習する内容のクイズを行い、興味関心を高める。(T1)	TV タブレット
なか	10分	2 感染症と性感染症の違いを確認する。 ・感染症→病気の原因となる病原体が体内に侵入することで引き起こされる病気のこと ・性感染症→感染症の中で性的接触によって感染する病気のこと。感染者の粘液などに含まれる病原体で感染する。	・感染症と性感染症の違いを確認し、粘液とは、血液・精液・膣分泌などの体液であることを押さえる。(T1)	
		【見いだす】 学習課題を確認する。		
		性感染症の感染経路を知り、予防するにはどのようにすればよいだろうか。		
		3 前時で調べた性感染症の種類などを基に、友達と症状について比較する。	・感染症について調べたことを種類や潜伏期間、性差によって症状が異なることを確認する。(T1) ・症状は性器に出ることが多いことを確認する。(T2)	

13分	【自分で取り組む】 4 感染に気付づかないうちの性的接触によって感染を広げてしまう実験を行う。 ・全体でどの位の人が感染してしまうか予測する。(個人) ・水交換をみんな同じタイミングで行い、自分が感染しているか予想する。(個人) ・コップの液が赤く染まった。→感染した。	・水の入ったコップ30個と水酸化ナトリウム水溶液が入ったコップを1個用意する。(T1) ・水酸化ナトリウム水溶液(性感染している液)が一つだけあることを知らせる。(T1) ・1人1個コップを持ち、みんな同じタイミングでコップの中身の入れ替えを行うことを知らせる。(T1) ・フェノールフタレイン溶液を全員に入れ、反応を観察する。(T1、T2)	プラスチックコップ 水 水酸化ナトリウム水溶液 フェノールフタレイン溶液
12分	【広げ深める】 5 実験の結果から、どうしたら性感染症を予防できるか考える。(個人→グループ) 〈予想される生徒の反応〉 ・性的接触をもたない。 ・正しい知識を身に付ける。 6 現代の性感染症の推移の資料から、低年齢化や年々感染が増加傾向であることを理解した上で、自分が考えたことを発表する。	・感染の予防方法について、まとめた考えをホワイトボードに記入し、各グループで発表する。(T1) ・予防法が思いつかないグループには、調べてもよいことを助言する。(T2) ○性感染症は、感染経路が性的接触で、感染者の粘液などに含まれる病原体に直接接触することによって感染する病気であること、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり、書いたりすることができるようにする。(知識)【観察・実験】 ・性感染症の予防方法が思いつかない。→コップの中の色が変わったのは、なぜか一緒に確認し、色が変わらないようにするにはどうすればよかったか考えるよう助言する。 ・専門的な立場から、低年齢化や知識不足によって性感染症患者が増加傾向にある現状について説明し、正しい知識や予防法を身に付けること、自分や相手を大切にする重要性について話をする。(T2)	ワークシート ホワイトボード

ま と め	10 分	【まとめあげる】 7 まとめ		
		・ 性感染症を予防するには・・・ 〈予想される生徒の反応〉 ・ 不特定多数との性的接触はリスクがある。 ・ 性感染症に対する正しい知識が必要である。 8 本時の学習を振り返り、性感染症について分かったことやこれからの行動など考えたことを書く。 ・ 各自、タブレットに入力する。 ・ タブレットに記入した内容を発表する。	・ まとめの続きは自分で考えて書くように指示する。(T1)	ワークシート
		・ 書き出せない生徒へ、性感染症にならないためにはどうすればよいのか助言をする。(T1) ・ 新たに分かったことや大切だと思ったことについて具体的に記述するように助言する。(T1) ・ 振り返りを発表し、全体で様々な意見や考え方に触れられるようにする。(T2)		タブレット

板書計画

健康な生活と疾病の予防		㊟ ・ 性感染症を予防するには・・・
性感染症の予防		
㊟	性感染症の感染経路を知り、予防するにはどのようにすればよいだろうか。	主な性感染症の種類と症状の資料
感染症の予防方法		